



1年の中で2月は日数が28日しかありませんが、インフルエンザによる各部の臨時休校や祝日も相まって、例年以上にあっという間に過ぎた感じがします。学校では、2月10日(火)から教育実習が始まり、賑やかな日々が続いています。賑やかさがある中で、高等部では、24日(火)に同窓会入会式がありました。卒業式も少しずつ近づいていることを実感し、寂しさも感じています。

さて、今回の進路だよりでは同窓会入会式の様子についてお知らせします。また、ハローワークで行われた会議の中で、障害者の就労に向けての選択肢などについて話題に挙がりましたので、これらに関する情報をお伝えします。

### 同窓会入会式



2月24日(火)に同窓会入会式がありました。式の中で紹介しましたが、1974年(昭和49年)の7名から始まり、これまでの同窓生は450名となります。3月に5名の生徒が高等部を卒業すると455名となります。毎年夏に同窓会を開催していますが、例年70名程の同窓生が集まってくれます。卒業後も母校を想う気持ちがとても強い附属特別支援学校の卒業生、3月の別れは寂しいですが、学校や友達、先生たちとは卒業後もつながっています。夏の同窓会はもちろんですが、いつでも学校を訪ねてきてほしいと思います。



緊張した雰囲気の中、始まりました



同窓会長の久保さんから挨拶をいただきました

同窓会入会式後は、今年度の附属キャリアチャレンジプロジェクトの振り返りをしました。高等部2・3年生の取組みを振り返った後、長崎大学の石川先生から感謝状をいただきました。来年度もまた、先輩・後輩と協力して大学実習を頑張ってください。



映像で今年度を振り返りました



感謝状

就労に関する情報

先日、ハローワークで障害者の雇用に関する会議がありました。その中で、興味深い情報がありましたのでお伝えします。一つ目は、「障害者の就労に向けての選択肢」についてです(図1)。この図では、「一般就労」と「福祉的就労」の二つに大きく分けられています。本校の卒業生もこのような進路選択をして、それぞれの場所で力を発揮して頑張っています。お子様の将来を考える際の参考にしていただければと思います。

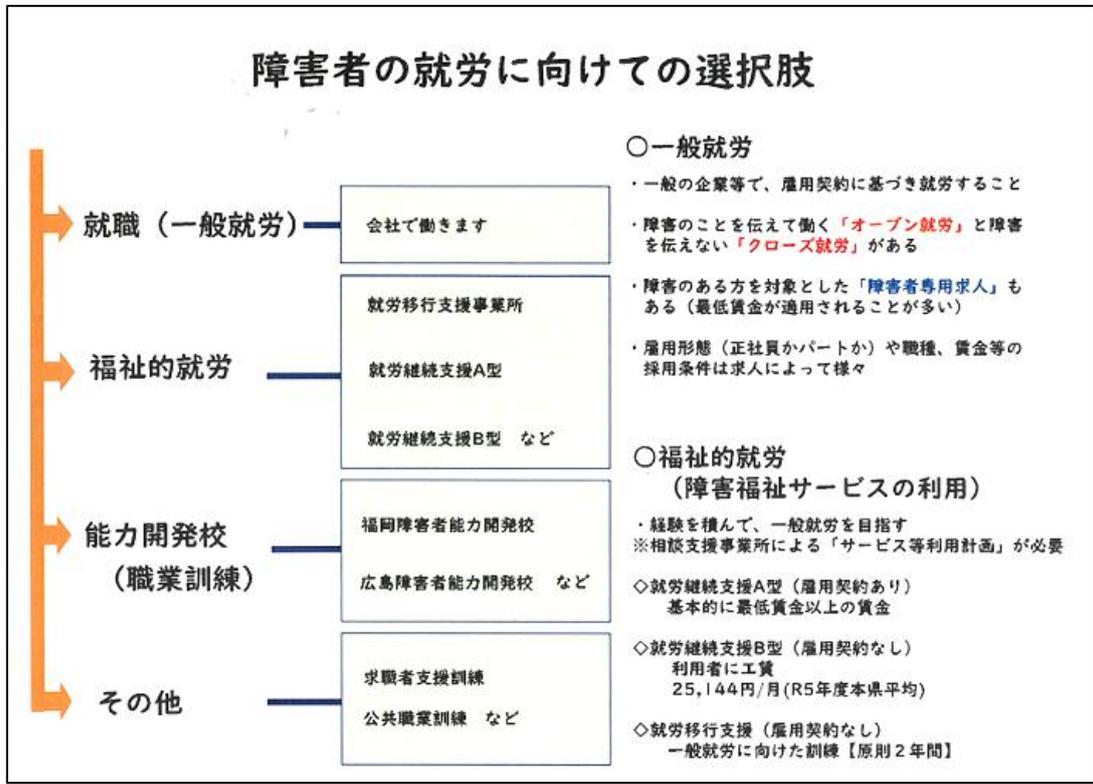


図1 障害者の就労に向けての選択肢

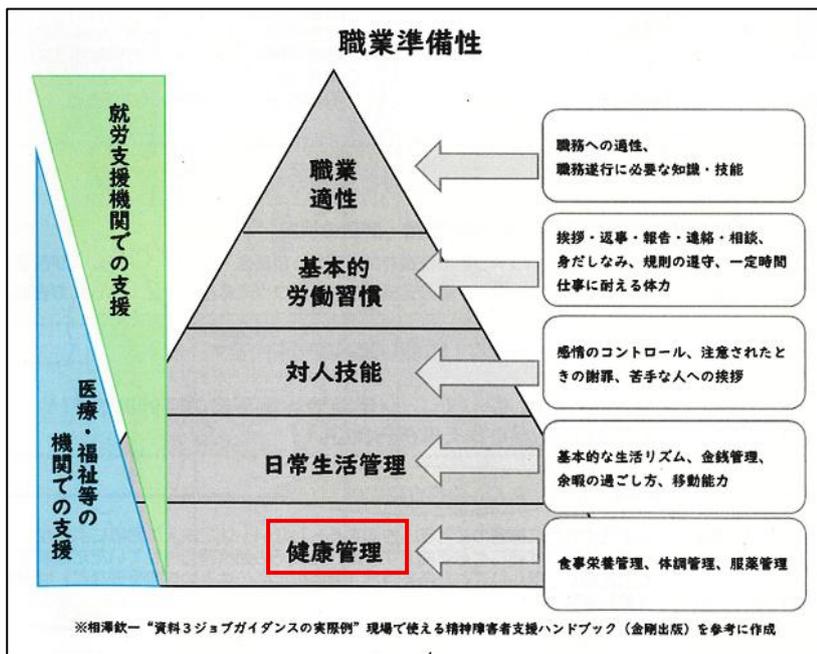


図2 職業準備性

二つ目は「職業準備性」についてです(図2)。元気に楽しく働くために必要な力を示しています。図にあるように作業力だけではなく、自分が持っている力を発揮するために必要なことが数多く示されています。中でも土台となる「健康管理」は最も大切になります。また、ピラミッド内にある5つの項目を支援するために、就労支援機関と医療・福祉等機関が、それぞれの立場でサポートをしてくれます。卒業後も外部機関の支援を受けることができますので、安心してください。御不明な点等ございましたら、進路担当までお声掛けください。

\* 図1, 図2は令和7年度長崎地域障害者雇用連絡会議資料より引用したものです。